

東京キリストの教会 QT シリーズ モーセシリーズ

第 11 週 2020 年 12 月 14 日～12 月 20 日

〈12 月 14 日(月) 申命記 29:1-4〉

1 モーセは、全イスラエルを呼び集めて言った。あなたたちは、主がエジプトの国で、ファラオおよびそのすべての家臣、またその全領土に対してなされたことを見た。 2 あなたはその目であの大いなる試みとしるしと大いなる奇跡を見た。 3 主はしかし、今日まで、それを悟る心、見る目、聞く耳をあなたたちにお与えにならなかった。 4 わたしは四十年の間、荒れ野であなただちを導いたが、あなたたちのまとう着物は古びず、足に履いた靴もすり減らなかった。

解説：

モーセはイスラエルの民たちに、彼らが見たエジプトの地での 10 の災い、葦の海の奇跡を思い起こさせます。しかし、その神様の御業を見ただけではイスラエルの民たちは不信仰のままでした。イスラエルの民たちには、悟る心が必要でした。

イスラエルの民たちは不信仰だったのにもかかわらず、4 節「まとう着物は古びず、足に履いた靴もすり減らなかった」とあるように、何一つ失うことのないように神様はイスラエルの民たちを守られます。

質問・実践：

- ①あなたの人生で起こった神の御業を思い出しましょう。そしてその御業を悟ることができるように、神様に祈り求めましょう。
- ②神様はイスラエルの民たちを 40 年間守られました。神様は私たちのことも守られます。そのことを覚え、感謝と賛美を献げましょう。

〈12 月 15 日(火) 申命記 30:1-6〉

1 わたしがあなたの前に置いた祝福と呪い、これらのことがすべてあなたに臨み、あなたが、あなたの神、主によって追いやられたすべての国々で、それを思い起こし、 2 あなたの神、主のもとに立ち帰り、わたしが命じるとおり、あなたの子らと共に、心尽くし、魂を尽くして御声に聞き従うならば、 3 あなたの神、主はあなたの運命を回復し、あなたを憐れみ、あなたの神、主が追い散らされたすべての民の中から再び集めてくださる。 4 たとえ天の果てに追いやられたとしても、あなたの神、主はあなたを集め、そこから連れ戻される。 5 あなたの神、主は、かつてあなたの先祖のものであった土地にあなたを導き入れ、これを得

させ、幸いにし、あなたの数を先祖よりも増やされる。 6 あなたの神、主はあなたとあなたの子孫の心に割礼を施し、心を尽くし、魂を尽くして、あなたの神、主を愛して命を得ることができるようになさる。

解説：

29章でモーセはイスラエルの民と新しい契約を結びました。それは、彼らが約束の地に入って、神の民としてどうあるべきなのかが示された新しい契約であり、その契約に従う者には祝福を与え、従わない者には呪いをもたらすというものでした。

その祝福と呪いが彼らに臨み、彼らがすべての国に散らされた時、それらのことを心に留め、彼らの神、主に立ち返る時、どのようなことが起こるのかがここで語られています。その約束は、たとえ神の御言葉に従わずに罪を犯し、神の裁きと呪いを受けることがあっても、それで終わりではありません。罪をメタノイアし、主に立ち返り、心を尽くし、精神を尽くして御声に聞き従うなら、主は彼らの繁栄を元どおりにし、彼らを憐れみ、すべての国々の民の中から、彼らを再び集めるといいます。

質問・実践：

- ①約束を信頼して、御言葉に従わず犯している罪があればメタノイアしましょう。
- ②メタノイアするためにどのような助けが必要ですか？祈り考えてみましょう。

〈12月16日(水) 申命記 30:15-20〉

15 見よ、わたしは今日、命と幸い、死と災いをあなたの前に置く。 16 わたしが今日命じるとおり、あなたの神、主を愛し、その道に従って歩み、その戒めと掟と法を守るならば、あなたは命を得、かつ増える。あなたの神、主は、あなたが入って行って得る土地で、あなたを祝福される。 17 もしあなたが心変わりして聞き従わず、惑わされて他の神々にひれ伏し仕えるならば、 18 わたしは今日、あなたたちに宣言する。あなたたちは必ず滅びる。ヨルダン川を渡り、入って行って得る土地で、長く生きることはない。 19 わたしは今日、天と地をあなたたちに対する証人として呼び出し、生と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選び、あなたもあなたの子孫も命を得るようにし、 20 あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。それが、まさしくあなたの命であり、あなたは長く生きて、主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地に住むことができる。

解説：

「今日」という言葉が繰り返し用いられています。繰り返し用いられていることから、イスラエルの民の歩みにとって、「今日」という日、つまり一日一日がいかに大切かということがわかります。イスラエルの民たちが一日一日を大切にして歩む時、種々様々な出来事に直

面し、正しい選択することこそ大きな課題でした。神様に聞き従わないなら、滅びの結果になる。神様に聞き従い、命を選んだら、「あなたもあなたの子孫も命を得るようにし、あなたの神、主を愛し、御声を聞き、主につき従いなさい。それが、まさしくあなたの命であり、あなたは長く生きて、主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地に住むことができる。」と神様は約束してくださっています。

質問・実践

- ① 私たちも一日一日を大切にしていって歩む時、様々な出来事に直面します。私たちにとっても正しい選択をすることは大きな課題であると思います。あなたにとって、今日「命を選ぶ」ことはどんなことですか？
- ② 「命を選ぶ」ことができるように、小グループの兄弟姉妹と分かち合い、祈り合いましょ

〈12月17日(木) 申命記31:16-21〉

16主はモーセに言われた。「あなたは間もなく先祖と共に眠る。するとこの民は直ちに、入って行く土地で、その中の外国の神々を求めて姦淫を行い、わたしを捨てて、わたしが民と結んだ契約を破るであろう。 17その日、この民に対してわたしの怒りは燃え、わたしは彼らを捨て、わたしの顔を隠す。民は焼き尽くされることになり、多くの災いと苦難に襲われる。その日民は、『これらの災いに襲われるのは、わたしのうちに神がおられないからではないか』と言う。 18わたしはそれでも、その日、必ずわたしの顔を隠す。彼らが他の神々に向かうことにより行ったすべての悪のゆえである。 19あなたたちは今、次の歌を書き留め、イスラエルの人々に教え、それを彼らの口に置き、この歌をイスラエルの人々に対するわたしの証言としなさい。 20わたしがその先祖に誓った乳と蜜の流れる土地に彼を導き入れるとき、彼は食べて満ち足り、肥え太り、他の神々に向かい、これに仕え、わたしを侮ってわたしの契約を破るであろう。 21そして多くの災いと苦難に襲われるとき、この歌は、その子孫が忘れずに唱え続けることにより、民に対する証言となるであろう。わたしは、わたしが誓った土地へ彼らを導き入れる前から、既に彼らが今日、思い悩んでいることを知っていたのである。」

解説：

31章はこれまでイスラエルをリードしてきたモーセが神様から命の終わりを告げられて、ヨシュアにリーダーシップが変わっていくことが話されています。モーセはリーダーシップの交代に促して2つのものを受け渡していきます。一つ目は申命記31:9-13によって「律法」を受け継がれます。2つ目が申命記31:19-22に記されている「歌」でした。神様は律法の朗読と歌を繰り返し唱えることで、神様に対する信仰と思いを子孫に受け継いでいくことを望んでいました。神様はモーセの死後、約束された土地で民が罪を犯し、契約を破っ

ていくこと、その結果神様がイスラエルの民を捨てていくことを話していました。17節では「彼らを捨て、私の顔を隠す」と神様は言われます。「顔を向ける」は「神様が恵みを与える」という意味であり、「顔を隠す」はその反対を意味しています。今の民が離れていったとしても、これからの世代の子孫たちには受け継いでいくことを望んでいました。

質問・実践

- ①この聖句での神様の民に対する態度をみてどのように感じますか？
- ②聖書の登場人物からそして神様から、私たちは信仰のバトンを受け継いでいます。今日あなたが覚えない聖句はなんですか？その聖句を実現するための行動を3つ決めて今日実行しましょう
- ③信仰のバトンを受け継いだ者として、神様があなたに望んでいることはなんですか？神様があなたに望んでいることを確信する聖句を選び、今日1日で暗唱しましょう

〈12月18日(金) 申命記32:1-6〉

1天よ、耳を傾けよ、わたしは語ろう。
地よ、聞け、わたしの語る言葉を。
2わたしの教えは雨のように降り注ぎ
わたしの言葉は露のように滴る。
若草の上に降る小雨のように
青草の上に降り注ぐ夕立のように。
3わたしは主の御名を唱える。
御力をわたしたちの神に帰せよ。
4主は岩、その御業は完全で
その道はことごとく正しい。
真実の神で偽りなく
正しくてまっすぐな方。
5不正を好む曲がった世代はしかし、神を離れ
その傷ゆえに、もはや神の子らではない。
6愚かで知恵のない民よ
これが主に向かって報いることか。
彼は造り主なる父
あなたを造り、堅く立てられた方。

解説：

申命記32章はモーセの歌が記されています。旧約聖書にはモーセの歌が2箇所記されています。一つ目は出エジプト記15:1-18でモーセが葦の海の奇跡を体験し、モーセとイスラエル

の民が神様を賛美して歌った場面。そして2つ目がモーセの晩年で歌われた申命記32章でした。モーセの歌の構成は、序文(1-4)イスラエルの民の忘恩(5-18)彼らに下される神様の怒り(9-25)イスラエルの敵に対する報復(36-43)主の贖い(36-43)となっています。

申命記32:4はヨハネの黙示録15:3-4に引用されています。ヨハネの黙示録の場面では「反キリストに勝った弟子たち」が歌っていたとされています。これから民が神様のことを裏切るということもあり、神様の怒りが多く表現されている32章ですがその根底には神様が真実で正しく、勝利を与える神様でおられることを初めに表現していました。

質問・実践

①32章を読み、晩年のモーセがこの歌を歌った時の気持ちを考えてみましょう。神様に対してどのような思いがあったのでしょうか？この歌を歌っているモーセを見て、神様はどのように思うのでしょうか？今日あなたはこの歌を読んでみてどのように思いますか？

②あなたの好きな賛美歌はどれですか？なぜ好きなのでしょう？今日あなたの好きな賛美歌について調べてみましょう。どの聖句が引用されており、神様のどのような思いを知ることができるのでしょうか？

〈12月19日(土) 申命記33:1-6〉

26 エシュルンの神のような方はほかにはない。

あなたを助けるために天を駆け
力に満ちて雲に乗られる。

27 いにしへの神は難を避ける場所
とこしへの御腕がそれを支える。
神はあなたの前から敵を追い散らし
「滅ぼし尽くせ」と言われた。

28 イスラエルは安らかに住み
ヤコブの泉のみが絶えない
穀物と新しい酒に富み
天が露を滴らす土地に。

29 イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。
あなたのように主に救われた民があろうか。
主はあなたを助ける盾
剣が襲うときのあなたの力。
敵はあなたに屈し
あなたは彼らの背を踏みつける。

解説：

33章ではモーセが死を前にイスラエルの12部族を祝福した言葉です。創世記の49章ではヤコブも同じように死を前にして祝福の言葉を述べています。モーセは祝福の言葉の中でモーセは祝福の言葉の中で「エシュルンの神」という表現を神様に対して使っています。(26節) エシュルンの神は聖書の中には4回出てきます。(申命記32:15/申命記33:5/申命記33:26/イザヤ44:2)

エシュルンはイスラエルの別称として使われている言葉です。エシュルンの語源は「真っ直ぐにする、正しい、公正」といった意味があります。ですので、26節ではイスラエルの神は正しく、公正であることを表現し、祝福の言葉の最後には神様が力強く勝利される神様でおられることを表現しています。

質問・実践

- ①今日あなたにとって神様を一言で表すとどのような方でしょうか？そう思うのはなぜですか？
- ②あなたにとって神様が力強いと感じた時、神様があなたの敵を屈させた時はありましたか？思い出し兄弟姉妹で分かち合ってみましょう

〈12月20日(日) 申命記34:1-8〉

1モーセはモアブの平野からネボ山、すなわちエリコの向かいにあるピスガの山頂に登った。主はモーセに、すべての土地が見渡せるようにされた。ギレアドからダンまで、2ナフタリの全土、エフライムとマナセの領土、西の海に至るユダの全土、3ネゲブおよびなつめやしの茂る町エリコの谷からツォアルまでである。4主はモーセに言われた。

「これがあなたの子孫に与えるとわたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓った土地である。わたしはあなたがそれを自分の目で見えるようにした。あなたはしかし、そこに渡って行くことはできない。」

5主の僕モーセは、主の命令によってモアブの地で死んだ。6主は、モーセをベト・ペオルの近くのモアブの地にある谷に葬られたが、今日に至るまで、だれも彼が葬られた場所を知らない。7モーセは死んだとき百二十歳であったが、目はかすまず、活力もうせてはいなかった。8イスラエルの人々はモアブの平野で三十日の間、モーセを悼んで泣き、モーセのために喪に服して、その期間は終わった。

解説：

34章はモーセがついに死を迎えます。神様はモーセにピスガの山頂に登させます。その景色を見ながら、モーセはこの土地に入れないことを伝えます。申命記の最後はこのようにモーセの悲しみの中で亡くなったように思われるかもしれません。しかしながら、マタイに夜福音書17章でイエスの姿が変わる場面にて、モーセはエリヤと共にイエスと語り合います。このことはモーセにとってどのようなことを意味するのでしょうか？命ある間、モー

セは約束の地に入ることはできませんでした。しかし彼は死後、天の国という約束の地に入ることができました。今日、もしかしたらあなたの弟子人生において、「報われたい」と感じることもあるかも知れません。しかしそのような思いを持った時にこのことは私たちにとって大きな励ましです。命ある時にどれほど報われたいと感じた時でも、神様に留まらしましょう。

質問・実践

- ①あなたがこの世を去るときどのような状況であることを望みますか？また望んだ状況になるために、今変わる必要があることはなんでしょうか？それぞれ3つ書き出してみましよう。
- ②あなたは神様に仕えていく中で報われたいという思いはあるでしょうか？今日天の国に希望を持っていきましょう。希望を持つことができる聖句を探し、確信していきましょう。